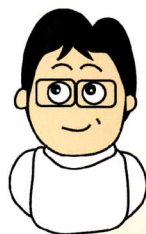




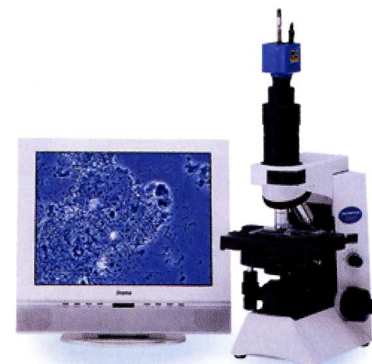
当院では顕微鏡システムを導入しています。  
詳しい方法、料金などは  
スタッフにお尋ねください。



国際歯周内科学研究会監修

Copyright (C) 2005T&C Dental Institute. All Rights Reserved.

# 薬でなおす歯周病 顕微鏡検査のススメ



**出血が止まる？口臭がなくなる？**

**歯ぐきがひきしまる？**

**歯周病が治る！？**

日本で発見された驚異の治療法とは？

国際歯周内科学研究会監修



## 「歯周病が薬で治る!？」

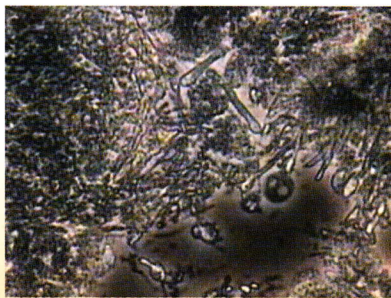
歯周病治療といえば昔から歯磨き指導と歯石を除去したりする歯のまわりのお掃除がどの歯科医院でもされている基本的な治療です。

しかし、この基本的治療をしても、一生懸命歯磨きしても、なかなか歯肉の炎症が取れず、歯肉の腫れや出血・口臭で悩まれ、歯周病で歯を失う方がおられることも事実です。

ところが、**簡単に薬で治す方法**がみつかったのです。

原因である菌を特定し、薬でその菌を退治する事ができるようになったのです。

この治療法は21世紀に入ってから行われている方法で最新式の治療方法**「顕微鏡を使った歯周内科治療」**です。



## 「歯周内科学」とは

歯科界の新しい分野「歯周内科学」。これまでとまったく異なったあたらしい考え方。お薬で歯周病を治してしまう治療の総称です。

歯科における2大疾患といえば、「虫歯」と「歯周病」。これは現在の歯科医療においては、感染症であるという結論になっています。

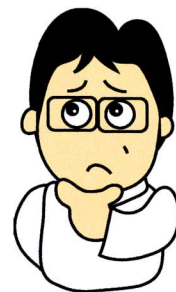
では、なぜ感染症なのに治らないのでしょうか。

医科において一般的な感染症は風邪です。一般的な風邪であれば医師の指示に従ってきちんと薬を飲めば、ほとんどの場合、治ってしまいます。

では、歯周病も同じように治らないのでしょうか。

現在の歯周病治療は外科的な処置が主流です。しかし、それは歯科医師が特殊な技術を持ち、患者さんも歯磨きがうまくできるという厳しい条件下でないと、良い結果が生まれないのです。

どんな条件下においても同じ方法で、簡単に良い結果が生まれる方法はないものかと、多くの歯科医師が知恵を出し合った結果生まれたのが、**薬で歯周病を治す歯周内科**という治療法なのです。

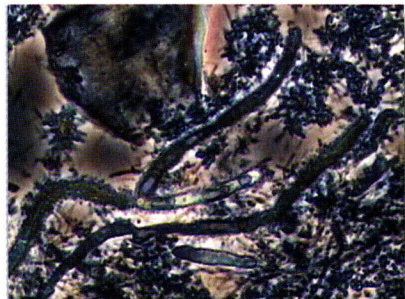






# いったいどんな菌がいるのでしょうか

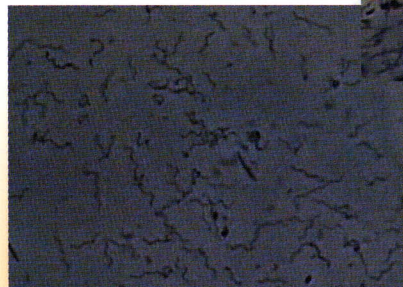
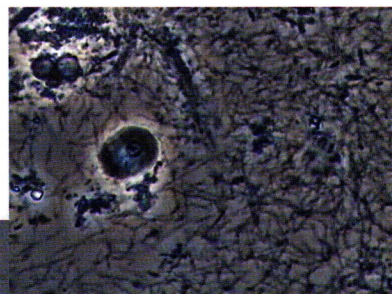
位相差顕微鏡で確認できる菌の一部です。



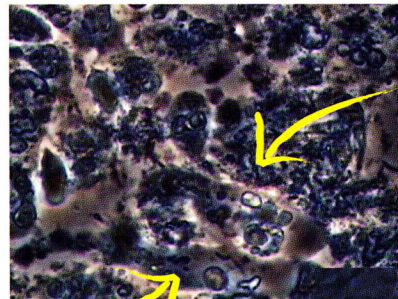
カンジダアルビカンス  
(カビ菌)



スピロヘータ  
(歯周病菌)



口腔トリコモナス  
(原虫)



歯肉アメーバ  
(原虫)

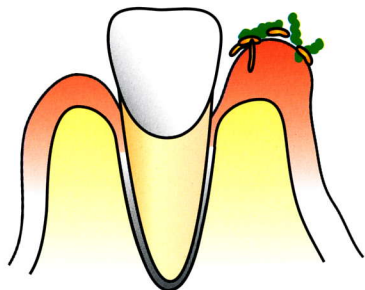






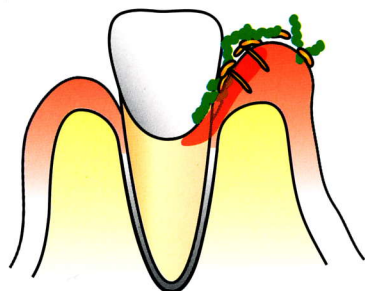
## どうやって歯周病は 進行するのでしょうか

歯周病菌  
カビ菌



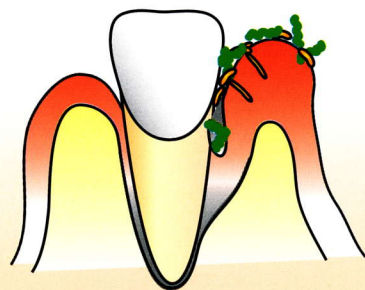
- ① カビが歯ぐきについて根を下ろし炎症を起こします。

症状: 口臭  
ネバネバ感



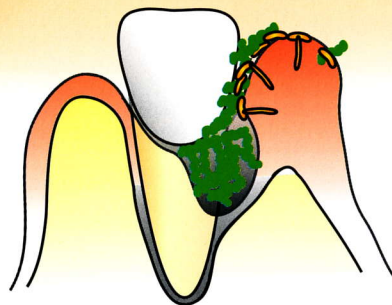
- ② 炎症によって歯ぐきが腫れ、歯と歯ぐきの間の溝が汚れやすくなり、カビがさらに奥で炎症を起こします。

症状: 歯ぐきの赤み  
時々出血する



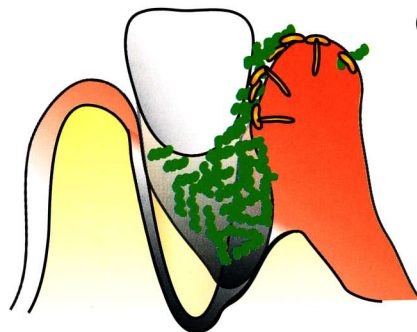
- ③ 歯と歯ぐきの間にポケットができます。歯周ポケットといいます。ここに歯周病菌がたまり、炎症がひどくなり、骨が溶けていきます。

症状: 歯ぐきの炎症  
時々腫れる  
赤みの悪化



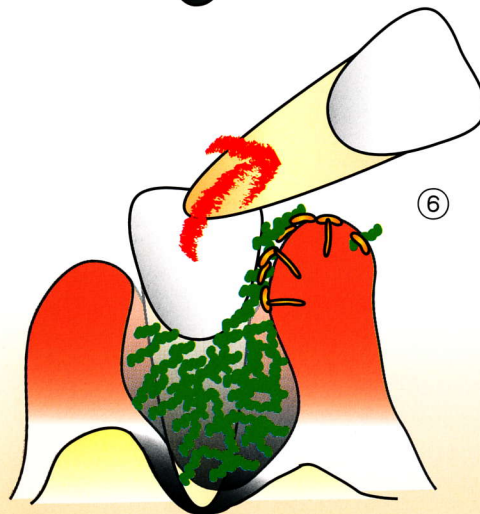
- ④ 歯周ポケットはさらに深くなり、よりたくさんの菌がたまっていきます。

症状: 歯ぐきを押すと  
膿が出る



- ⑤ 骨はさらに溶け歯周ポケットはさらに深くなり、さらに多くの菌がたまっていきます。

症状: 口臭がさらに悪化  
出血がひどい  
歯が揺れる  
噛むといたい  
膿が出る  
歯ぐきがよく腫れる



- ⑥ 最後には歯の周りに骨がなくなってしまう、グラグラになり、抜かないといけなくなります。

症状: 歯が痛くて噛めない  
歯が揺れて噛めない  
歯ぐきが  
いつも腫れている





## 感染経路

生まれたときには人のお口の中には歯周病菌は存在しません。しかし、もともといない歯周病菌がなぜ今お口の中にいるかという、**人からうつされている**のです。いまも、家族の間でうつしあっている状態にあるかもしれません。

**回し飲みや回し食い、箸の使いまわし、キス、くしゃみ**などが感染ルートとしてあげられます。菌が再びお口の中に入ってくると、お口の中で定着して歯周病を発症する可能性が出てくるということになります。

特に危険なのは性感染です。せっかく歯周病を治してもパートナーからうつされたのでは意味がありません、パートナーの方と同時に治療なさることをおすすめします。



## 再発を予防するには

カビ菌は口腔内常在菌といって、お口の中に必ず住み着いている菌です。徹底的にやっつけても、空気中や食べ物や手の指などから再びお口に戻ってきます。全滅させることは不可能なのです。

ですから**毎日の歯磨きと歯科医院における定期的なプロフェッショナルクリーニングが大切です**。カビ菌が増えすぎると歯ぐきが腫れるなど、悪い影響が出てきます。また、カビ菌は歯周病菌の快適な住みかにもなりますので歯周病菌が**再感染**しやすくなります。

定期的に歯科医院に通って、歯周病菌が**再感染**していないか、カビ菌が増えすぎているか、**顕微鏡**で確認しカビ菌が増えすぎないように専用の器具を用いてクリーニングを行う必要があります。



## 義歯

義歯を使っている方は、義歯にもかなりカビが付きます。義歯の清掃もこれから非常に重要になってきます。



## 虫歯

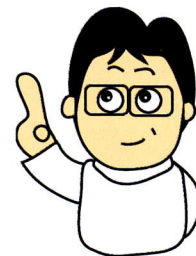
カビは歯周病にだけ関与しているわけではありません。カビはお口の中で酸を出すことがわかってきていますので、その周りに歯があれば歯を溶かし、虫歯を作ってしまうのです。



## タバコ

今回使う薬は白血球が運んでくれる薬なので、たばこを吸うと歯ぐきの血管が収縮し、白血球が減少し、薬の効きが悪くなります。

また、タバコは**歯周病になりやすく、歯周病が治りにくい**ことがわかっています。



## 全身疾患との関係



菌が全身疾患に大きく関与しているのが医科でも問題になってきています。カビが肺に入れば肺炎になってしまいます。歯周病菌も、わずかでもお口の中で出血を起こすとそこから血管に菌が入ってしまい、心臓で炎症を起こすのです。歯周病の人が**心臓病になる確率は2～3倍にあがります**。ほかにも**食道癌、糖尿病、早産、高血圧**などにも関与しています。

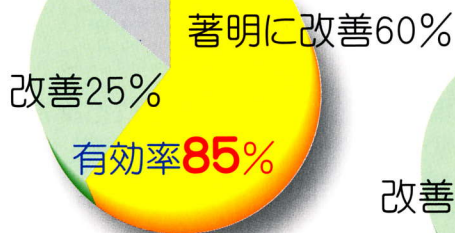




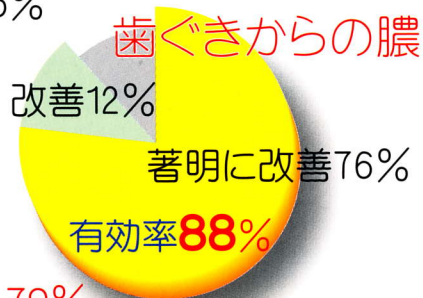
## 1週間後の自覚症状の変化 (患者さん1000人アンケート)

自覚症状の強い方ほど  
1週間後の変化を大きく実感します。

### 歯ぐきからの出血



### 朝起きた時のネバつき



### たった1週間で他にも…

|            |     |
|------------|-----|
| 噛んだときの痛み改善 | 79% |
| 歯ぐきの腫れ改善   | 77% |
| 歯のグラグラ改善   | 66% |
| 歯のしみる感じ改善  | 65% |

などなど…

このような症状の改善が期待できます。



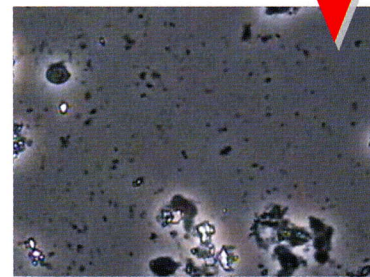
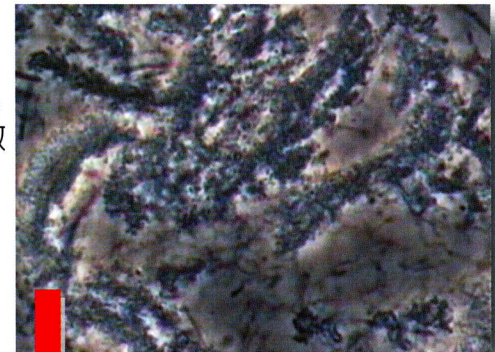
## 顕微鏡とくすりによる治療

45歳の男性

治療前の自覚症状

「歯周病といわれました。歯がグラグラして、噛むと痛い  
です。時々歯ぐきが腫れます。口臭もあります。」

初診の菌の状態です。  
カビ、歯周病菌が多数  
見られます。



1週間後の非常にき  
れいになった菌の状  
態です。本来いるべ  
き正常な菌は残って  
います。

自覚症状の変化:

1週間で口臭、ネバネバ感が消失。出血なし。

1週間後の感想:「気になっていた口の匂いがなく  
なりました。歯ぐきが引き締まった感じです。噛ん  
だときの違和感もなくなりました。」